一 般 質 問 通 告 書

令和 7年 1月27日

議 会 議 長 様

議席番号 10 番

議員氏名 宮 田 雄 一

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 環境センターの火災対策は	<p>今年の1月3日、川口市のごみ処理施設の1つである「朝日環境センター」で火災が発生しました。この火災は、燃えるごみを一時的に置くピット内で発生し、電気系統やクレーンなどが被害を受けました。復旧までには半年以上かかると言われています。また、火災原因は特定されていないものの、リチウムイオン電池が原因ではないかと言われています。</p> <p>そこで、以下伺います。</p> <p>(1) 当町の環境センターにおいて、又は、ごみ収集の過程において、出火した事例はあるのか。事例がある場合、その時の対応はどのように行ったのか。</p> <p>(2) 川口市では今回の火災で市内から出る可燃ごみの約半分が処理できなくなり、県内や東京都などのごみ処理場に処理を依頼したものの間に合わず、一時的にごみの収集を停止した。当町の環境センターで同様の事案が発生した場合の備えはどのように考えているのか。</p> <p>(3) 原因ではないかと言われているリチウムイオン電池だが、当町ではどのような処分を行っているのか。</p>	町長 副町長 環境課長 担当課長

1月27日 午前・午後 9時10分 受理

質問事項	質問要旨	指定答弁者
2. 来年度のふるさと納税に対する取組は	<p>良くも悪くも可能性を秘めたふるさと納税というシステムですが、当町は残念ながら後れを取っているように見受けられます。大きな成功事例である茨城県境町の取組については、既に研究されていることと思いますが、それが成果として表れていないように感じます。</p> <p>そこで、以下伺います。</p> <p>(1) 杉戸町のふるさと納税における収入（他自治体からの納税額）と支出（杉戸町民が他自治体へ納税した額）を踏まえ、その収支の差額はどのようになっているのか。</p> <p>(2) 境町の令和5年度ふるさと納税額は、99億3811万9000円を集め関東1位となっている。一方、当町は6579万3000円であり、前年からは大きく伸びているものの、境町と比較すると大きな差がついている。このことについてどのように分析しているのか。</p> <p>(3) 境町は、寄附金の活用事例を積極的に公開し、寄附者の信頼を得ている。杉戸町でも、寄附金の使途や成果を明確に示すことで、寄附者の共感を得る取組が必要と考える。今後、ホームページの見直しを含めた寄附者の共感を得る具体的な計画はあるのか。</p> <p>(4) 現状でも魅力的な返礼品は数多くあると認識しているが、新たな取組も必要と考える。それはもっと大胆な取組が望ましいが、現在どのように考えているのか。</p> <p>(5) 境町では、ふるさと納税推進室を設置し、町長自らが施策を強力に推し進めるとともに、地元事業者と町職員が連携を深めることで、ふるさと納税の寄附額を大きく伸ばしている。当町でも各課を横断したプロジェクトチームを設置するとともに、地元事業者との連携を図ることで、効果的に施策を推進できると考えるが、見解は。</p>	<p>町長 副町長 総合政策課長 担当課長</p>